

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

- ☆会長の挨拶・・・・・・・・・・ 2
- ☆障害者記念事業、
区長との懇談会・・・・・・・・ 3
- ☆新年の抱負・・・・・・・・・・ 4、5
- ☆きょうされん大会・・・・・・・・ 6、7
- ☆クリスマス会及び
金子さんの送別会、
金子さんへの一言・・ 8、9
- ☆虫めがね・・・・・・・・・・ 10、11
- ☆冬季営業売上報告
和栗さん連載・・・・・・・・ 12
- ☆小野塚さん連載・・・・・・・・ 13
- ☆太田稔さん連載・・・・・・・・ 14
- ☆署名のお願い・・・・・・・・・・ 15
- ☆学習会・・・・・・・・・・ 16、17
- ☆実習所報告、
寄付のお礼、夕会・・・・・・・・ 18
- ☆防災訓練、
新行事委員の紹介・・・・・・・・ 19
- ☆編集後記、スケジュール・・ 20

2007年～
2008年
12・1
月合併号





新しい年が始まりました。西暦でいうと2008年。平成も既に20年になりました。21世紀も平成もあつという間に時が経ちます。そう感じるのは歳を取ったからでしょうか。

小野塚 航



A HAPPY NEW YEAR 2008

今年も風の子便りを
よろしくご愛読ください！！

会長挨拶

明けましておめでとうございませす。皆さんのお正月はいかがでしたか。良い新年でしたか。風の子は高浜と芝が一緒になって、賑やかに迎えた新年でしたね。ニヶ所に分かれてから何年ぶりでしょうか。

芝の撤収という厳しい現実が現実として、一緒に祝えたことを喜びませす。

厳しいと言え、いよいよ自立支援法への移行の年になります。否も否もありません。自己資金だけで運営出来ない限り移行しないわけにはいかないのです。施設体系の見直しとかで、生活介護か就労支援のどちらかに纏めろ、極端に言ってしまうえば、ベッドか仕事か一つを選べ、と迫られているようなものです。その上に年齢での制限とか、特養など生活施設での介護との絡みとか、じっとしていたら“一人ぼっち”で“家の中”の生活に引き戻されてしまふでせす。

でも、法律がこちらに合わせてくれない以上、国の届かないところは区にカバーしてもらって、こちらから合せていかなければ生き延びれないのです。

もちろん、自助努力、そう、人集め、資金集めに頑張らなければなりません。頑張りませす。

そして、目出たく三〇周年を迎えませす。

花田 政國

障害者記念事業

去る12月8日、「第26回障害者の日記念事業」で風の子会の紹介を行いました。職員の丸岡さんと僕が代表で出席しました。僕はこの日はあまり調子が出ず、丸岡さんにずいぶん助け船を出してもらいながら、どうやらこうやら風の子会の紹介が出来ました。僕のピンチを救ってくれた丸岡さんには本当に感謝しています。

また、風の子会の自主製品である、メモ帳などの用紙をいつもご寄付くださっている岡崎紙工様が今回、障害者福祉への貢献を評価され、表彰を受けました。

おめでとうございます。

今後とも、風の子会をよろしく願いいたします。

太田 稔



感謝状

岡崎紙工殿

貴社は多年にわたりメモ帳の紙を寄付として風の子会に尽力し、その発展に大きく貢献されました。よってここに深く感謝の意を表します。

平成19年12月8日

特定非営利活動法人
風の子会

区長の懇談会

昨年の十一月十五日に区役所にて区長懇談会が行われ、風の子の代表として参加しました。港区の主な障害者団体が集まり、区長を始めとする役所の方々とそれぞれ質疑応答を重ねました。とはいっても各団体はあらかじめ質問事項を提出し、役所の人はそれに対する解答書を読み上げるというものでしたが、僕は初めての参加だったので役所の偉い人たちと接する場というものに緊張しましたが、こういう機会を経ることで一つステップを踏めたと思います。今後何かの場面でこうした経験を生かせればと思っています。

小野塚 航



お仕事を頑張ります。

福島

和紙ハガキ作りと内職を頑張る。

ミスター吉本

馬券を当てたい。そして
仕事も楽しく頑張る。

永澤



明るく楽しく元氣よく。そして

議論なく。岡本



健康第一で、色んな事にチャレンジします。

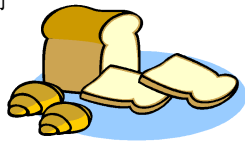
内田

去年は年の始めが頑張れなかったので、今年
は年の始めから頑張ろうと思います。

青木

好きなだけ、デニッシュ食パン
を食べたい。

金



もつと仕事がしたいです。

近岡

一生懸命仕事を頑張ります。

田草川

和紙を一生懸命頑張る。

ミスターマリーonz

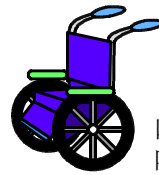
今年もちやんとミキサーをやりま

す。

小野塚航

車椅子を進化させ
つつ重量を軽くす
る。

山内



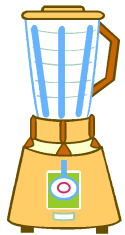
今年も
頑張りまちゅー

岡



今年も笑顔の

風の子会。
松本母



新年の抱負

高浜・港南編



“意志あるところに道は通ずる”

小野塚航

今年も、昨年同様明るく楽しく元氣に毎日
を過ごしていきたいと思ひます。そして、夢
の話になるかもしれない
んが、ジャンボ宝くじで
三億円を当てて海外旅行
をすることです。夢が現
実になりますように・
・

田中 聡



僕の今年の抱負は、「風の子便り」に、連載
中の「母の思い出」を、自主出版させる事
です。何故かと言え、母は生前小説家にな
りたかったらしいのです。そして自主出版で
いから、本を出してみたかったらしいです。
ですから僕の「今年の抱負」は「母の思い出」
を製本化（勿論風の子便りの連載が終わって
からの話ですが）したいと思ひています。

太田 稔



何でもいから、目的
を持ち、一歩前に進
みたい。

吉田 久代

今年は（今年も？）色々な人・物の役に立つようなことをしたいです。出来ることは限られています。今までやってきた募金やドナー・アイバンク登録など。
 献血もやってみたいです（今まで『出来ない』とっていて、やったことがなかったの）。
 もう一つは、毎年夏に出場している『スポーツ大会』の自己記録を更新することです。
 田村 亮彦



新年の抱負と言っても、私は、もう年なので、はつきりとしたお約束は出来ませんが、私は、皆さんの知らない戦争体験を皆さんに知っていただけるよう、気力の続く限り頑張りたいと思っております。
 和栗 顕太郎



SMAPのコンサート予約したい。みんなでいきたい。まこは自分の買い物いきたい。
 右田 磨子

一・彼女を作りたい
 二・出来るだけ節度を持って禁酒禁煙に心掛けたい
 三・引き締まった体にするために体力作りをしたい
 四・健康に気をつけつつシェイプアップしたい
 天海 隆一



パソコンをもう少し解る様に成りたいと思います。今年は、昨年以上に自分に磨きをかけ、見聞を広めたいです。
 河原 雅子

私は六十三ぐらいまでは平らなところに支え無しで座ってられたが、座れられなくなってからは新聞も本も読めなくなってしまった。特に足を骨折してからは他の理由もあって、長い旅行どころかタクシーにでさえ乗っているのが難しくなった。去年は一年間船旅以外は何もせず、ベッドの上でTVっ子になっていたが、今年はPC上で作詞家とか童話作家になろうかなと思っている。
 太田 圭子

企画のパソコンや紙折機が不調・もしくは故障しているものが大変多いので、何らかの形で少しでも新調出来たら良いと思います。よろしく願います。
 丸岡 秀明



パソコンをもう少し勉強していきたいと思います（ソフト関係）。趣味も幅広くやっていきたいです。今年も何事にも挑戦！！自分にも磨きをかけたいと思います。
 矢代 奈津三

パソコンのDTPソフト（イラストレーター CS3 とフォトショップ CS3）をもっと使いこなす。そして今年こそ新しいパソコンを買いたい。 佐久間 庸

記事をうまく読みたい。もっと早く読みたい。
 松本 恵司

きょうされん大会 in 東京



松本 恵司

十二月二十一日（金）
東京ビッグサイトにて、
きょうされん大会東京
の開会式がありました。
最初の合唱、歌が良か
ったよ。最高。
柔道家、山下泰裕さ
んの講話は重く受け止
めた。
高橋洋子さん達のア
ニメコンサート面白か
った。
最後にみんなの主張
コンクールで、とちの
実作業所の人が優勝し
ました。
トロフィーと目録が贈
られました。
参加して良かったです。



1日目 ご報告

きょうされん大会行ってきました

1日目：東京ビッグサイト

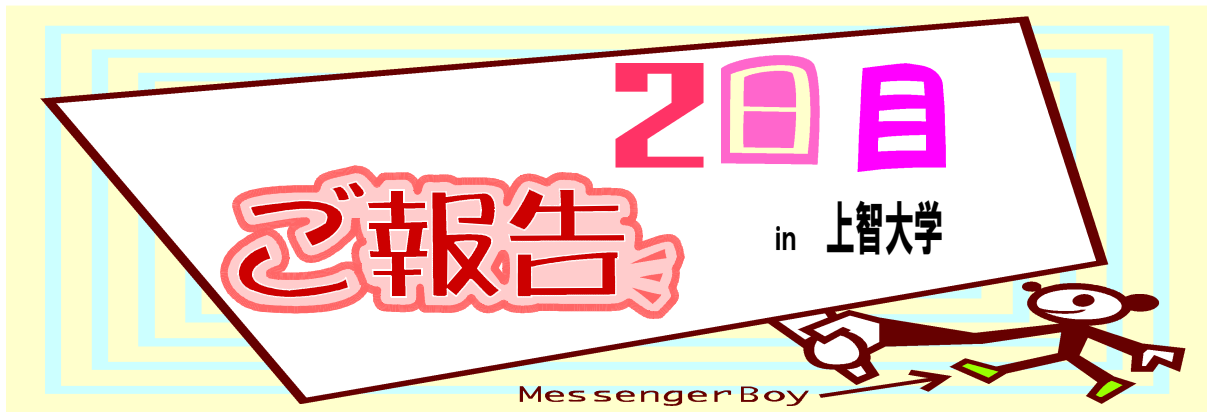


十二月二十一日に第三〇回きょうされん全国大会が東京ビッグサイトで行われました。僕は初めての参加でしたが毎年福祉機器展が開催される場所なので馴染みがあります。会場は数多くの人で賑わい、オープニングをむかえました。記念講演では柔道家の山下泰裕さんが登場し、山下さんが大切にすることが出来ました。過去の栄光を振り返るより今をひたむきに生きることに、前を向いて未来へ向かって生きていきたい…。とても熱い語り口調でパワーが伝わってきました。その後に行われた「聴いてよ！わたしたちの思い」みんなの主張コンクール「最終選考会では、障害者から社会に対しての大切な意見を聞くことが出来ました。その中でも僕はとちの実作業所の岩塚葉採さんのパワフルさと語りのうまさに驚かされました。

はじめてのきょうされん全国大会に参加して、たくさんの元気をもらえたような気がしました。そしていろいろな作業所に通っている障害者の意見を聞くことが出来、本当によかったと思います。

佐久間 庸





2日目は、上智大学にて分科交流会が行われました。分科交流会では、各教室に分かれて、前日までに個人的に学びたいものを選び、当日になり、選んだのを勉強をしました。僕が学びたかったテーマは暮らしと住まいというので、その内容はグループホームについてでした。大阪にあるグループホームの代表者数名がパネラーになり、進行していただきました。実際にそこでの生活をビデオに写してそれを皆で見ながら話を聞いたり、パネリストの方へ皆からの質問をしていたり、午前10時～午後1時ごろまで行われました。その後、ほかの教室で分科会に参加をしていたメンバーと合流をして、閉会式が行われている会場へ向かいました。ですが、会場が満杯で入れませんでした。そのため予定時間より約一時間早く解散をしました。僕は今回初めて全国大会に参加をしてみて、いろいろと勉強になり、これからの参考になりました。次回は広島で行われるそうです。

田中 聡



僕が出た分科会（地域で暮らすスタイル）では、脳性マヒが多く、その殆んどの出席者が、一人暮らしがしてみたいという人たちでした。その理由は、うちにいるとやってみたいことが出来ない、家族がすぐ手を出してしまう。「あなたがやってもどうせ出来ないんだから。私たちがやったほうが早いし、ちゃんと出来る。」でも僕たちは失敗しても、やったという喜びがあるんだ。と言う意見が2/3以上でした。それに対して積極的に障害者が、責任を持ってやっているというのは1/3以下でした。そして分科会の後半は僕も話に参加しました。

一番みんなが驚いたのは、風の子会は着替えまでさせてくれて、作業所まで連れていって来て、作業して帰ってくると座らせてくれるところまでやってくれることにみんなビックリしたようでした。それと僕が障害者同士結婚しているということをみなさん驚いたようでした。

僕は今65歳ですが、あと20年くらいは作業所に通いたいと思います。なぜ僕が風の子をこんなに好きかといえば、職員さんも僕たち通所者も同じ立場に立っているからです。例えば、職員さんが失敗すれば僕たちもその時は怒ります。その代わりに、もちろん僕たちが失敗すれば、職員さんに怒られます。だから風の子会は職員さんと僕たちが平等だということが、僕にとっては一番魅力なのです。先ほども書いたように、僕はこれからも風の子で一生懸命頑張りたいと思っています。

太田 稔



分科会の風景～
♫ (° °) カキカキ..

昨年12月1日、時期的には少し早いですがクリスマス会が行われました。これは、同月に風の子を辞める職員の金子さんの送別会も兼ねていました。会は例年通りの賑やかさと職員との別れの淋しさが混ざった、少し複雑な空気がありました。僕は金子さんとは芝の頃からの付き合いなので、楽しかったことなどいろんな思い出があります。金子さん、職員としては終わりですが、これからもボランティアとしてよろしくお願いします。

小野塚 航

クリスマス会 及び 金子さんの送別会

金子さんの英語が楽しかった。
一緒に「はなみずき」の納品に行きました。
お弁当を取りに行きました。
向こうでも頑張ってください。
ミスターマリーンズ

福島
基予子

がんばって下さい。

金子さんへ、
一言コメント
(工房メンバー)



イエーイ！
クイズ大会、盛り
上がりました。

また是非来て下さい

ミスサーティ

体に気おつけて下さい。
これからも仕事をがんばって下さい。
お世話になりました。

近岡 真由美

金子さんと
の思い出話。

(T_T)



色々とお世話になりました。
ありがとうございました。
お体には気をつけて下さいませ。

田草川 満枝

金子さんへ、 一言コメント (工房メンバー)

一年間一緒にやってきて面白かった。
楽しかった。金子さんと握手をしました。
ミキサーマン



がんばって元気でやって下さい。
永澤 心一

がんばって下さい。
小野田 浩

また来て下さい。
カネちゃんまた会いま
しょう。
飯尾 直美

学習会の時も普段と変わらない笑顔、
金子さんの話しが出た時は金子さんの
顔を思い出します。 松本 成子

風の子会の関係者各位に御礼申し上げます。風の子会で働
たことは私にとっても幸運なことでした。苦境のところを
助けていただき誠にありがとうございました。
お世話になりましたが、辞めることでメンバーや職員の方々に御
迷惑おかけ致しますが、どうぞ御容赦下さい。
今後とも皆様の活動の様子を知りたいので、ぜひとも「風の
子便り」を送って下さい。楽しみにしております。
それではまたの機会にお目にかかりたいと存じます。再会を
楽しみにしております。皆様、ごきげん麗しゅう。
金子 好守



クリスマス会 及び 金子さんの送別会

十二月一日(土)十二時〜十六時まで、カナルサイド高浜三階会議室にて、風の
子のクリスマス会が行われました。今回、職員の金子さんが十二月八日をもって
退職されるため、送別会を兼ねて行いました。当日になり、司会者が佐久間さん
と職員の岡本さんの二名というハプニングがありました。というのは、実行委員で
もあり司会の太田稔さんと天海さんが欠席をしていたので本当に大変そうでした。
た。そして、花田会長からの乾杯のあいさつからクリスマス会が始まりました。
皆、楽しく談笑をしながら食事をしていました。十三時頃になり、岡本副会長か
らの素敵なクリスマスプレゼントを頂きました。その内容は、音楽四重奏というも
ので、岡本副会長家族と日頃から家族共々お世話になっている先生がお越しにな
り、クリスマスソングを演奏していただきました。「きよしこの夜」では、演奏に合
わせて皆で歌って盛り上がりました。岡本副会長、クリスマス会を盛り上げていた
だけありがとうございました。その他には、退職される金子さん関連クイズが行
われたり、職員対抗ロシアブルーレットやお絵かきクイズなどが行われました。お
絵かきクイズでは、職員その他にボランティアさんが参加しました。動物の絵やア
メキャラクターの絵をお題に応じて描きました。皆さんの絵もうまく描けていた
のですが、井出さんの絵がうまくて皆ビックリしていました。最後に、金子さんへメ
ンバーからのささやかなプレゼントを、代表で、太田圭子さん、松本さん、真部さ
んの三名が渡しました。その時金子さんは、感動をされていて涙をこぼしていまし
た。そして、いつも行われているビンゴゲームは、今回は時間の関係で行われませ
んでした。実行委員の皆さん、楽しいクリスマス会をありがとうございました。
田中 聡

虫めがね

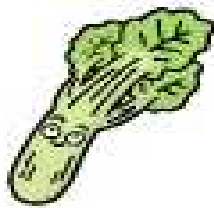
“好きな食べ物・嫌いな食べ物”テーマは今回が最後のメンバーです。好き嫌いというのは、その人の人となりがかかりますね。さて、今回の4人の好き嫌いはいったいどういう食べ物でしょうか？

僕は昔から、香りがきつい食べ物はあまり好みません。その中でも、もっとも僕が嫌いな食べ物は、タイ料理等で良く使われる野菜で、有名なパクチーです。僕にはなんだか、香水を食べているみたいで全く良く解りません。それと、セロリもそれとは別な理由で嫌いです。セロリにはへんなクセがあるし、後がめんどくさいからです。それと、食べてみて別に美味しさを感じないからです。多分僕の体にはあわないのでしょうか。本当は体には良いのでしょうか。



それから、これは今でこそ食べられるようになりましたが、僕が幼少時代の頃はすごくレバーが大嫌いでした。それは、パンにぬって食べるペーストも含まれます。

僕がレバーが嫌いになったきっかけは、若いころ「幼少時代」の頃、幼稚園時代の先生にレバーの固まりをむりやり食べさせられたという、苦い体験があったからだと思います。けれども、僕が成人を迎え、酒の味も解るようになった今では、かなり好きになりました。



さて今度は僕の好きな食べ物を紹介しましょう。僕は、パンよりもお米のほうが好きです。僕は日本ご飯党（冗談です）。何故パンはあまり好まないかという、なんかパンはご飯よりも重い感じというか、口の中に入れた時の感じが、とてもぼそぼそする感があるからです。また、ご飯と同じ位好きなのが、おもちです。ちなみに僕は、お正月のお雑煮の中に入れるもちも好きですが、いそべが一番好きです。それとおでんの具に入っているおもちや、からみもちも好きです。それとちくわぶが好きです。つまり満腹感があって、もちもちして、満腹感、満足感を得られるのが大好きということです。



天海 隆一

基本的に好き嫌いは少ないほうですが、子供が好きなようなメニューはいまだに好きです。ステーキ、ハンバーグ、カレー、スパゲティ、ラーメンなど、
・食事にかけるときは、中華料理、洋食、焼肉が多いです。基本的に肉類は大好きです。魚ではマグロが好きです。嫌いな食べ物は貝類です。食感と香りが苦手な理由です。



佐久間 庸

特に好きな食べ物嫌いな食べ物はないのですが、あえて言うならドリアンやクサヤ等の強烈な臭いのあるものは苦手です。それ以外は何でも頂きます。小学生の頃はセロリ等の野菜が嫌いでしたが、料理に興味をもってから食わず嫌いは克服しました。料理する人のことを考えると残すなんて事はできないし悪いと思うからです。大げさに言う私たちが生きるために動植物達が命を捧げてくれているわけですから……。



三木 直人

虫めがね パート2

テーマ：好きな食べ物、嫌いな食べ物



私の嫌いな食べ物

は甘い物で特に甘いだけのフルーツ類が大嫌い。例外は酸味の強い果物で青いミカンにリンゴは紅玉、そしてバナナを買うときにはなるべく青いのを探してくる。だから我が家の冷蔵庫にはフルーツなどは滅多に入っていない。ところが困ったことに旦那は甘いフルーツ（モモ、ビワ、スイカ）が大好き、夏になると仕方がないから一回か二回は買ってあげるのだが、私が嫌いな物だからいつも食べ残して腐りそうになる。

私は基本的にはフルーツ意外に嫌いな物はほとんど無い。この間野菜ものが大好きでボールに山盛りでも、私のように食べてしまうとと言う男性がいたが、私は同類がいたと嬉しくなってしまった。

太田 圭子



冬期売上報告

（カレンダー＋オリジナル商品）

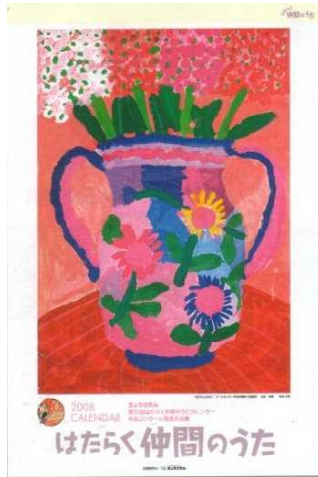
総売上金額

三六三、一六〇円

カレンダー売り上げ数TOP3

一位

壁掛版 はたらく仲間のうた



二十三個

二位

卓上版 未来に残したい自然遺産 はたらく仲間のうた



十四個

オリジナル商品TOP3

一位

アクアモック専用スポンジ



三十一個

二位

きょうされんふきん（五枚組）

二十六組

三位

きょうされんふきん（三枚組）

十四組



皆さま、お買い上げありがとうございました。

（ミレニアム秘話）第八話

栗あきら



瀬藤は気づいた。部下の将兵たちが、どんな命令が下るのか、全員の緊張した視線が瀬藤に注がれていた。瀬藤は、落ち着いて、ゆっくりと力強く命令書を読み始めた。内閣総理大臣・陸軍参謀総長、極秘命令。金塊輸送部隊将兵につぐ。共産革命軍によつて、ニコライ二世一族は惨殺され、既にロシア帝国は崩壊し、金塊は、我が国が、帝政ロシア復活の暁には、直ちに返還をする、それまで我が国が責任を持って保管をする。機密保持のため、金塊のロシア王室の紋章の刻印を完全に消すため、金塊を、約こぶし大の大きさに切断をする。切断の方法には、金粉を出来る限り出さないようにするためには、螺旋状に巻いたニクロム線に電流を通し、赤く熱したのを、金塊に巻き付けて、その部分を解かし切ると言う、当時としては、驚くべき斬新な進歩した技術であったに違いない。実は、この技術は、残念ながら日本ではなく、ドイツの技術なのであるが、この発想こそは日本人独自の考えなのである。

次回に続く

わたるのドミトリライフ

【ドミトリとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第5話 寮の部屋

学生寮の建物は、20年以上経っている古いものだ。5階建てで、2階から5階までが寮生が住む部屋となっている。1階の両脇にそれぞれ階段であがる登り口があり、玄関で靴を脱いでサンダルに履き替えて部屋へと上がっていく。両脇に分かれているのは男子寮生と女子寮生の入り口を分けるためだ。この寮には各階に部屋が9室あり、1号室から6号室までが男子寮、7号室から9号室までが女子寮となっている。2号室から5号室までは2人部屋の6畳間で、1号室と6号室は4人部屋の12畳間となっている。寮の階段を上ると廊下があり、廊下沿いに2号室から5号室があり、廊下の両脇のつきあたりにそれぞれ1号室と6号室の扉がある。女子寮側にも階段があり、7、8号室が2人部屋、9号室が4人部屋というつくりで、階段から7号室までしか廊下はない。という訳で6号室と7号室はつながってはならず、階毎の男子寮生と女子寮生の行き来はできない仕組みとなっている。けれども1階の両脇の玄関は中央にある食堂で繋がっているので行き来が全く出来ないわけではない。寮の規則で、男子寮生は女子寮生部屋に入ってはいけないという決まりがある（その反対はOKだ）。学生たちだけで生活をしていくためには、ある程度の節度が必要だ。

玄関から上がる階段には手すりがついているが、その手すりは2階までしか取り付けていなかったもので、僕が住む部屋は毎年2階と決まっていた。両脇の4人部屋には住んだことはなく、僕が住むのはいつも2人部屋だった。6畳間に2人で生活をするというのは、今になって思い返せば結構大変なことだ。2段ベッドがあり洋服ダンスがあり、学習机とテレビとオーディオと小さな冷蔵庫、そして真ん中にこたつを置けば、部屋は既にいっぱいだ。2年目と3年目の僕の部屋は溜まり場となっていることが多く、僕がいろいろがいが絶えず部屋に誰かがいるような状態で、賑やかで騒がしい部屋だった。僕の記憶が確かなら、部屋に集まった最高人数は10人だったと思う。家具や物が溢れている6畳間にどうやったら10人も入れるのか。でも当時はそんな賑やかさがとても好きだった。

1階の端には風呂がある。脱衣所に洗濯機があり、風呂同様にそれも共用である。洗濯した服はだいたい部屋干しとなり、大量に洗濯をすると部屋は洗濯干しでいっぱいとなる。5階の上には階段で上られる屋上があり、5階の寮生は屋上を物干しにも使えるが、男というのは基本的に無精なもので、たいていは部屋干しで済ませてしまう。

寮生活の中で一度だけ屋上に上がったことがある。後輩の誕生パーティーで屋上でバーベキューをしたのだ。6月の暖かい風とやさしい陽差し。それに木々のざわめきを耳にしながらビールを飲み肉を食べ、CDラジカセをかけながらみんなで大騒ぎをする。しかもそれが土日ではなく普通に授業のある平日だとすればなおさら気分がいいものだ。

～ 第6話へつづく ～

母の思い出

第六回

太田 稔

母は座つてから青年に言う「本当にどうも有り難うございました。おかげさまで助かりました」すると青年はここにこゝ笑いながら「いいえ困ったときはお互い様です。ところでどこでこの列車にはお乗りになったのですか」彼女は答える「滋賀県の大津です」「それでどこまで行くんですか」母は答えた。「東京の兄のところまで」後で聞いた話だがその人は、余程良い人だったらしい。「僕も東京まで行くのでよろしければ」一緒に下さいますか」母は小さく頷いた。だが心の中では不安だった。列車に乗っているうちはよいが降りたら車に乗せられ、何処かに連れて行かれないかしら。母はそんなことを真剣に考えていた。今でこそ、そんな考えはおかしいだろうが、昔は特に終戦直後は女の一人歩きは危険とされていたからだ。列車は東京駅に着いた。その人は母に言う。「どこですか、そのお兄さんが住んでおられるところというのは」母は兄から来た手紙をその人に渡した。「はあ上野の池之端ですねえ。あの辺はごたごたしていてわかりにくいところだ。そんなお子さんとそんな大荷物を抱えて探すのは無理だ。私とその荷物を持ってお兄さんの家まで探しながら行きましょう」その人はそう言いながら母の荷物を軽く持つて歩き始めた。若い人だから足が速い。母はその人に追いつくのがやっとで何処をどう通ったのかさっぱり解らなかつたのである。今考えればその人は地理に詳しい人だったのかもしれない。母が後で言っていたのだが「あのとき私はあの人に荷物を盗られるのではないかと必死であの人に付いて行つたの。そうしたら急にあの人立ち止まつた。そして私の方を振り返つてここにこゝ笑いながら言うの。『貴方が探しておられるお兄さんの家というのはたぶんここだろうと思います』私はそう言われて驚いてその家の表札を見た。表札には確かに【片山一郎】と書かれてあつた。私は生まれつきの方向音痴でしょう、ましてや初めて行く家でしょう。絶対に探すのに二時間はかかると思っていたの。ところがその人はまるで兄の家を知つてもいるかのように楽々と探し当てるんですもの、本当にびつくりしちゃつてねえ。それにしてもあの方には悪いことをしてしまつたし、悪いことを思つてしまつたわ。だって私、住所も名前もお聞きしなかつたし、それにお兄さんのうちに着くまでの間、私に何か悪いことでもしようと考えていないかしら、などと考えていたものだから私『有り難うございました』と言つただけだったのよ」うちの母は礼儀正しい人だった。その母がこれくらいの言葉しか出なかつたと言うことは余程あの男の人が怖かつたらしい。こうして母と僕は東京に出てきたのである。そして兄（僕から見れば叔父だ）が借りてくれたガード下の四畳半に、祖父、祖母、母、僕の四人で暮らし始めた。それから一年くらいたったある日、叔父がきて母に「こういうのである」「お前、いくらか向こうの家からもらつて出て来たんだらうなあ」「母は答える「いいえお兄さん、出てくる時は一銭ももらつては来なかつたわ」叔父は笑いながら「お前そうじゃないかと思つていた。旦那が戦死したんだから普通は実家に戻りたいと言ひ出したらお金をくれて帰すものだ」叔父にそう言う話を聞いた母は、早速行動を開始した。

次回に続く

きょうされん(旧・共同作業所全国連絡会) 第三十一次国会請願署名・募金のお願

06年度より施行された障害者自立支援法は障害者、その家族に甚大な負担をもたらし、多くの小規模作業所も補助金が廃止され、移行せざるを得ない状況で運営が悪化し、障害程度区分により行き場を失う障害者も現れています。障害者問題を単純に経済競争原理に持ち込むことで、解決どころか、より一層混乱を極めていきます。

今回の署名・募金活動も一昨年、昨年に引き続き、障害者自立支援法の見直しを中心としたものとなります。今回の請願項目は以下の三点となります。

一、障害者自立支援法の応益負担はなくすべきです

障害を持つ人たちが社会参加するために必要な介助を受けたり施設を利用するために、現在は軽減措置があるとはいえ、原則一割負担は重く、この法律の最大の課題点です。

作業所で得られる少ない工賃以上の利用料を支払えず、在宅に戻ってしまった人たちもすでに多く出ています。障害を持った人たちの社会参加や自立を却って阻む結果となっています。

また、施設運営を困難にしている低水準の報酬単価引き上げ、日額払い方式を月額払い方式に戻すことも重要な課題です。

二、無認可の状態に置かれてきた小規模作業所への支援が求められています

小規模作業所の主な移行先として創設された地域活動支援センターはあまりに補助金が低い一方、市町村は続々と小規模作業所への補助金制度の廃止を決めてきています。運営費不足という小規模作業所の抱える最大の課題からいっそう遠ざかっています。移行するための要件の緩和や施設整備への支援策などが必要で、また、移行するまでは従来の補助金の継続を求めます。

三、そもそも障害者問題の根幹の課題の解決が必要です

障害保健福祉関連予算は、その絶対的な額が圧倒的に少ないです。また、障害分野での各法制度の見直しが早急に必要です。

是非とも同封の署名用紙に書かれている趣旨をお読みになり、ご賛同・ご協力いただけたらと願っております。

皆様のご協力をお待ちしています。

* * * * *

署名にご協力いただく皆様へ

今回の第三十一次署名活動は、四月中旬まで行います。注意事項をご参照の上で、ご記入願います。

①記入は、ボールペンかサインペンでお願いします。

②請願署名の取り組は「個人情報保護に関する法律」には抵触しません。また、記入された氏名・住所は請願として国会に提出するものであって、他の目的で使用されることはありません。

③今回も募金活動に力を入れております。

署名のみでも構いませんが、皆様の十円、百円が大きいので、余裕のある方は、是非ご協力をお願いします。

④署名用紙は沢山ございますので、追加で郵送することもできます。その時はお申し付け下さい。

⑤署名にご協力下さった方は、風の子会職員にお渡し下さるか、左記住所までご郵送をお願いします。

⑥集まった署名はきょうされんで取りまとめの上で、国会に直接届けます。

* * * * *

Q、募金はどの様に使われるのですか？

A、募金はキャンペーンの資金、総会、全国大会・国会請願行動への利用者の参加費用、各作業所の運営費として、有効に活用させていただきます。例えば、今回の署名で風の子会が十萬円の募金を集めたとしても、五割(五万円)をきょうされん全国事務局に、残り三割が風の子会、二割が東京支部へ分配されます。

署名用紙の送付・お問い合わせは・

風の子会・高浜実習所

〒108-0075

東京都港区港南1-1-27

カナルサイド高浜302号室

Tel 03-(三四七四) 九六七四

署名担当 丸岡 秀明まで



学習会便り



10月31日、カラーセラピーの予定でしたが、準備不足のため、ヒューマンプラザ祭りの準備。

11月7日、予定決め。今年いっぱい、学習会の予定を決める。



11月14日、ビデオ観賞、「踊る大捜査線 レインボーブリッジを封鎖せよ」は、織田裕二と柳葉敏郎が、刑事役で登場。凶悪犯の魔の手が忍び寄る中、レインボーブリッジを封鎖しようとする警察の物語に、見ている僕たちも、ハラハラドキドキの、ビデオ観賞でした。





11月21日

前半・・・英語、後半・・・音楽鑑賞

前半の英語は、金子さんが、最後の学習会で、英語を教えてくださいました。

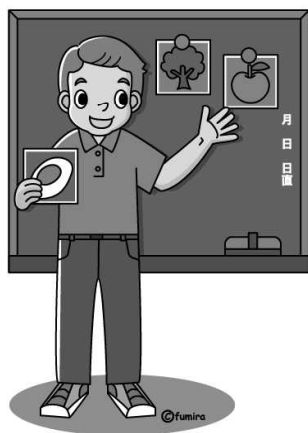
後半は、CDをみんなで持ち寄って、音楽を聴きました。とてもよかったと思います。



12月5日

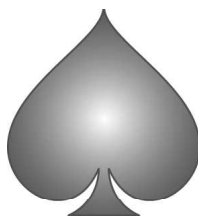
水曜学習会での金子さんの送別会

学習会ではいろいろな事を教えてください、ありがとうございました。この日は金子さんを囲んで三年間の思い出話をしました。

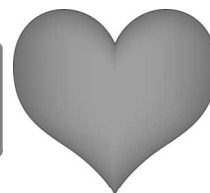


12月26日

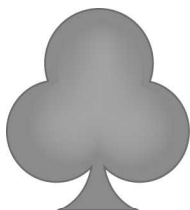
クイズ大会。みんなで班に分かれて、クイズを楽しみました。



12月12日、トランプ、人生ゲームを班に分かれてやりました。



太田
稔



12月19日

前半、職員の河原さんが、オーストリアの歴史を話してくれました。とても面白かったです。

後半、今年の反省を、みんなで話し合いました。



去年は作業所の移転や職員の金子さんが辞めてしまったこともあって、何かとバタバタした一年でした。来年は風の子にとってはたしてどんな年になるのか、少し不安な部分もありますが、みんなの力を合わせて乗り切っていきたいです。

佐久間 庸

実習所報告

港南編

高浜編

仕事の面では、内職（年賀ハガキのホコリ払いや箸入れ・飴の陳列台作り）や作業（パルプ作り）・区役所に納品する自主製品・工房会議（価格の見直しや今年の反省）・大掃除をやりました。工房を担当されていた金子さんが退職され、寂しいです。

福島 基予子



松本 恵司

十一月二十四日（土）
【行事委員会選挙】
太田稔さん、小野塚航さん、真部千代子さんが次期行事委員に決定しました。
【クリスマス会及び金子さんの送別会】
金子さんの送別会&クリスマス会について話し合いを行い、会費とプレゼントが決まりました。

夕会

十一月十日（土）

【行事委員会の解散】

今年の行事委員は解散となり、来年に向けて新たな行事委員を募集することになりました。

【クリスマス会及び金子さんの送別会】

職員の金子さんが退職することになり、クリスマス会と併せて送別会をすることになりました。クリスマス会の担当者は天海さん、太田稔さん、佐久間さん、岡本さんになりました。

【きょうされん全国大会分科会の説明】

きょうされん大会二日目、分科会の各内容の説明があり、どの分科会に参加するか希望を出すことになりました。



寄付のお礼

（十一月七日～一月七日）

物品を下さった方

高木愛子様 昆咲子様 山崎真理子様
小西雅子様 小野田春子様

ご寄付を下さった方

谷島イクエ様

賛助会にご賛同下さった方

小野田和子様 島村亨延様
木村忠司・友紀子様 島田尚子様
小西雅子様 小野塚智香子様

誠にありがとうございました

年賀状のお礼

本年も各関係機関等から年賀状を頂きありがとうございました。左記に列挙致します。

品川区社会福祉協議会様 みなと工房様
熱川ハイツ様（株）アンゼンパックス様
中村様 弘済学園アフターケアセンター様
港区中途障害者会様（株）ユニオンサービス様
（株）芝浦タイヤ商会様 昆正治郎様
長野様 はすの実作業所・とちの実作業所様
東京福祉大学・大学院様 金子様 武藤様
芝病院・健診センター様 麻布13クラブ様
社会福祉法人ときわ会福祉工場エバーグリーン様
のびのび共同作業所大地 同様

防災訓練について



11月11日(日)午前10時から、カナルサイド高浜にて防災訓練が行われました。天候が悪く、急遽会議室で訓練を行いました。この責任者の方から、防災についていろいろと話を聞きました。訓練が無事終わり、その後は風の子会の皆は、実習所に戻り食事をして、皆でトランプゲームで遊びました。次回は、来年の春ごろに行われるそうです。



田中 聡

前年度に続いて
行事委員を担うこ
とになりました。
昨年は初めてだっ
たのでわからない
ことだらけで戸惑
っている間に過ぎ
てしまいました。
その分職員さんに



年も改まりました、行事委員のメンバーも新しくなりました。今年も、「外に出よう」や「一泊旅行」などで、頑張っていたと思います。よろしくお願いします。

お知らせ

新行事委員紹介



行事委員にはもう一人、真部千代子さん
もいらっしゃいますが、今回は多忙のため、
自己紹介文はいただけませんでした。顔写
真のみにて失礼させていただきます。



今年の行事委員になりました、太田稔です。
「外に出よう」と「旅行」を中心に、頑張り
たいと思っていますので、どうぞよろしくお
願い申し上げます。
小野塚 航

太田 稔



あけましておめでとうござ
 います。年賀状を書いてい
 るうちに、今年も会えなかつた
 なあという人が年々増えてい
 るような気がします。でもい
 ろいろな人からの年賀状をみ
 て今年も元気になれました。

佐久間 庸

記事を発見し、家族共々納得をしました。当日
 になり、いいお天気に見守られ午後一時すぎ
 に、天王洲アイルからりんかい線で台場の方
 向かいました。午後二時ごろに台場に到着、フジ
 テレビやデックス東京などでショッピングをして
 時間を過ごしました。夕食は「すし好」に行き、
 寿司を食べました。いよいよ
 午後七時となり、花火が打
 ち上がりました。夏の花火
 も美しいのですが、冬の花火
 も綺麗でした。夜でしたの
 で、風が冷たく寒かったけど
 冬の花火もいいもんです
 ね！また来年も行なってい
 たいです。

タナツキ



編集後記

家族と一緒に台場に
 行き花火見えてきました。
 それはどうしてかとい
 と、この二週間くらい前
 に家で夕食をとっていた
 ら、外で大きな音が聞こ
 えてきたので、家族の皆
 がビックリしましたが、
 雷なのか何なのかよく判
 りませんでした。次の日
 の朝刊に「お台場で花火
 イルミネーション」とい

皆さんは年賀状はメールでしようか、手書
 きでしようか。携帯が普及している今日、メ
 ールのみの人も多いらしいです。パソコンで
 作る人でも、短くても良いので手書きの文を
 入れませんか。新年の挨拶くらいは心を込め
 て手作りで。
 と言っている僕も、疲れや集中力の持続が
 持たない所為か、年々書く枚数が減ってきて
 いるのですが。

田村 亮彦

スケジュール

- 12月8日(土) 障害者記念事業
- 12月18日(火) 高浜荘クリスマス会
- 12月21日(金) ~ 22日(土)
きょうされん大会in東京
- 12月27日(木) ~ 1月6日(日)
冬休み
- 1月26日(土) 外に出よう実行委員会
- 1月27日(日) もちつき大会
- 1月28日(月) 振替休日
- 1月30日(水) 運営委員会

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会

~定価40円~

編集者
 天海 隆
 太田 圭子
 佐久間 聡
 田村 恵司
 三木 亮彦
 吉田 久代

太田 圭子
 小野塚 航
 田中 聡
 松本 恵司
 右田 磨子
 和栗 太郎

編集人：【高浜実習所】 〒108-0075
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜302
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

【港南実習所】 〒108-0075
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜301
 TEL 03(5479)7155 FAX 03(5479)0180

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
 東京都世田谷区砧6-26-21

